

# 生駒市の 公民連携事業について

令和2年2月22日  
事業構想大学院大学

こむらさき まさし  
奈良県生駒市長 小紫 雅史



# 自己紹介







みんなで創る、日本一楽しくて住みやすいまち「いこま」





# 今日お話したいこと

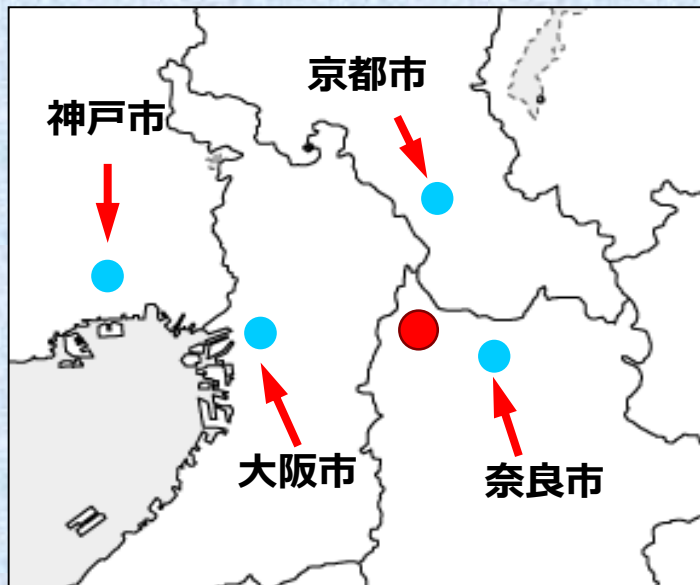
- I 生駒市の概要と5つの課題
- II 生駒市の公民連携事業
- III 公民連携事業を生み出そう！
- IV 公民連携実現の障害と乗り越える手段



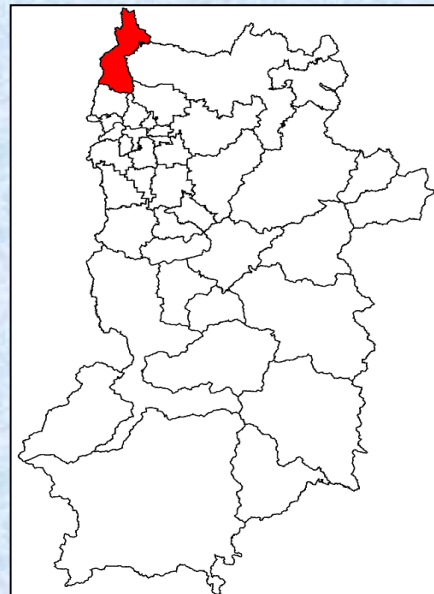
# I 生駒市の概要と5つの課題



# 近畿の中心、けいはんな地域



生駒市





◇人口 119,483人 (市制施行後約3倍)

◇面積 53.15km<sup>2</sup>

◇大阪都心部まで電車で約20分

◇県外就業率 全国2位

◇小中学生の学力 全国トップレベル

◇治安の良さ 関西1位

◇本当に魅力ある市区町村ランキング 奈良県1位

# 生駒の観光資源



奈良先端科学技術大学院大学



生駒山上から眺める  
大阪平野の夜景



高山茶釜



生駒ケーブル

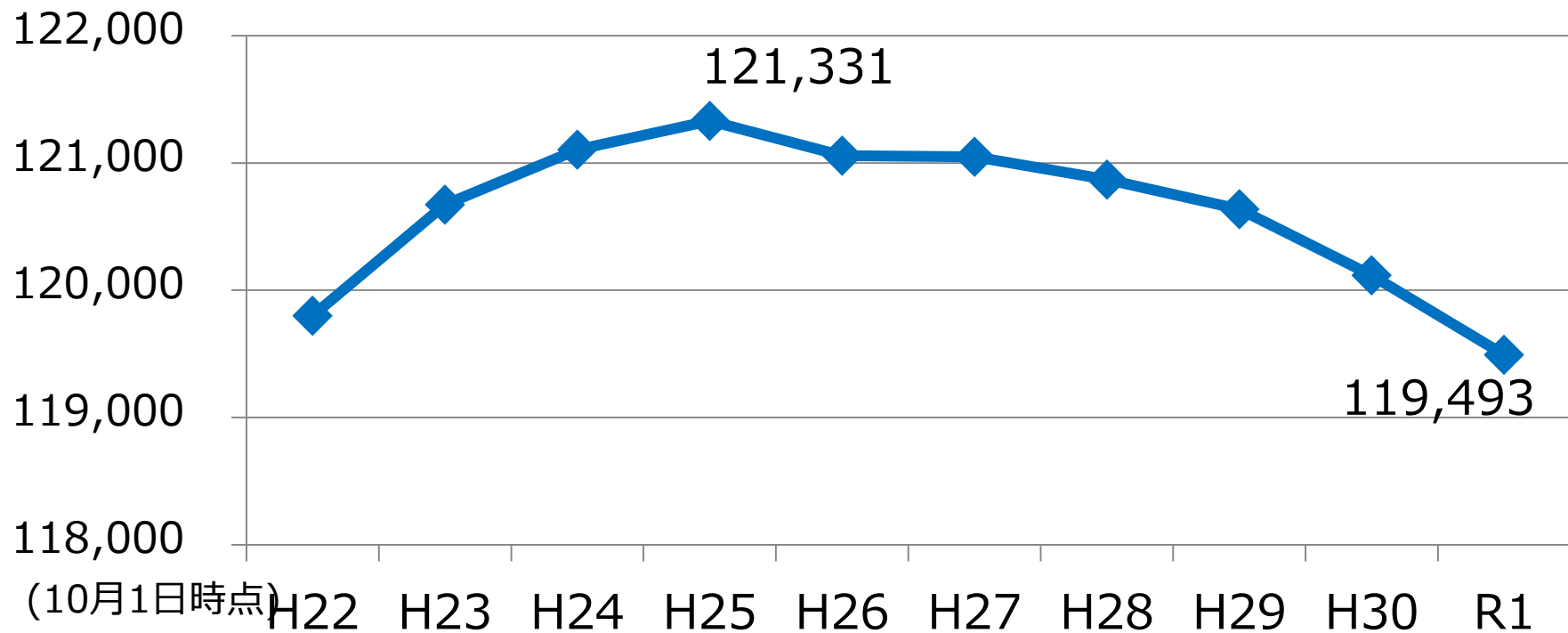


宝山寺(生駒聖天)



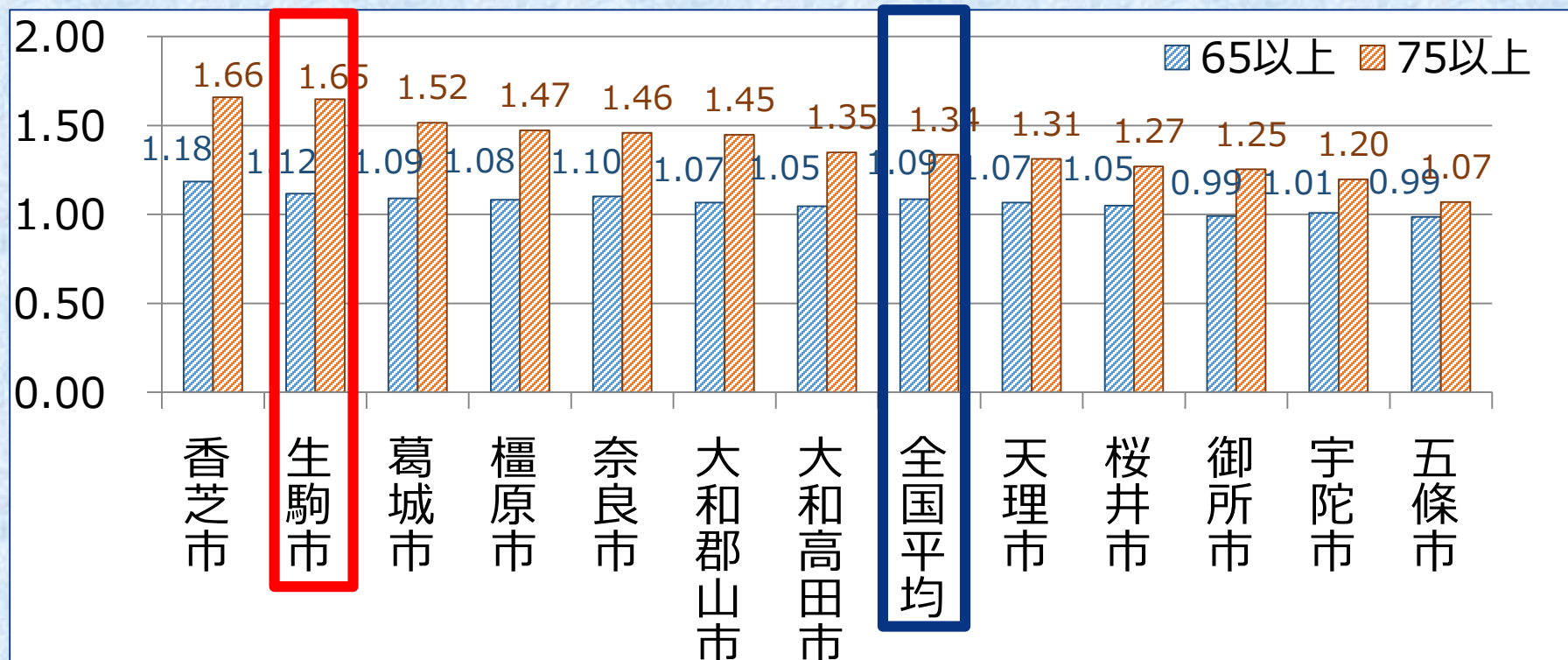
# 生駒市の課題

## 1. 人口の減少



## 2. 高齢化の急速な進展

県内12市における75歳以上人口の伸び率の比 (2015年～2025年)



# 3. 地域消費の低さ

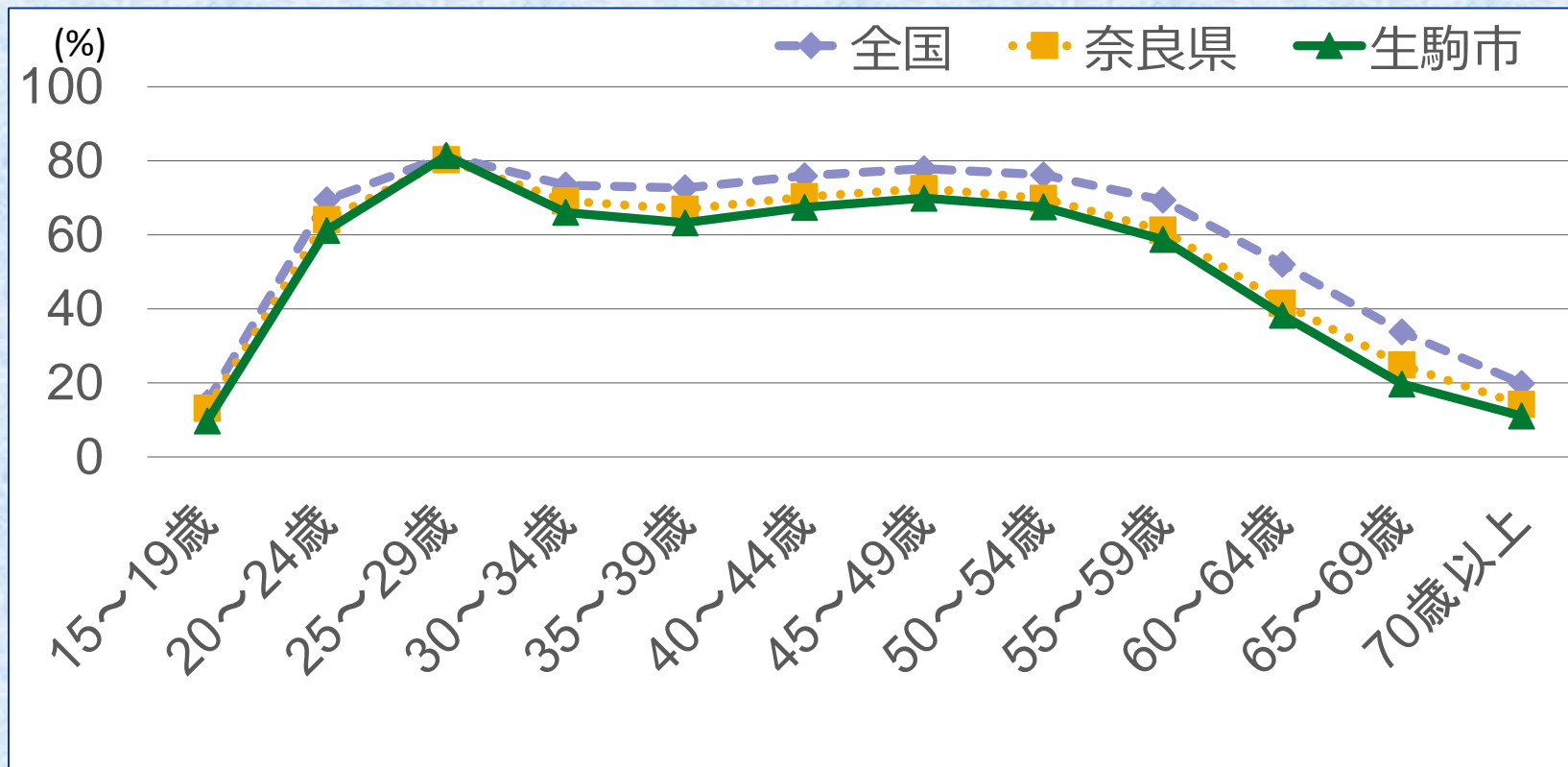
都道府県別「他の都道府県」での購入割合(二人以上の世帯)

順位	都道府県	他県での購入割合(%)	地域差※
1	奈良県	15.2	172.7
2	岐阜県	13.7	155.7
3	埼玉県	13.6	154.5
4	佐賀県	12.8	145.5
5	神奈川県	12.5	142
6	三重県	12.0	136.4
7	滋賀県	11.6	131.8
8	千葉県	11.5	130.7
9	東京都	10.7	121.6
9	京都府	10.7	121.6

※全国平均(8.8%)=100として換算

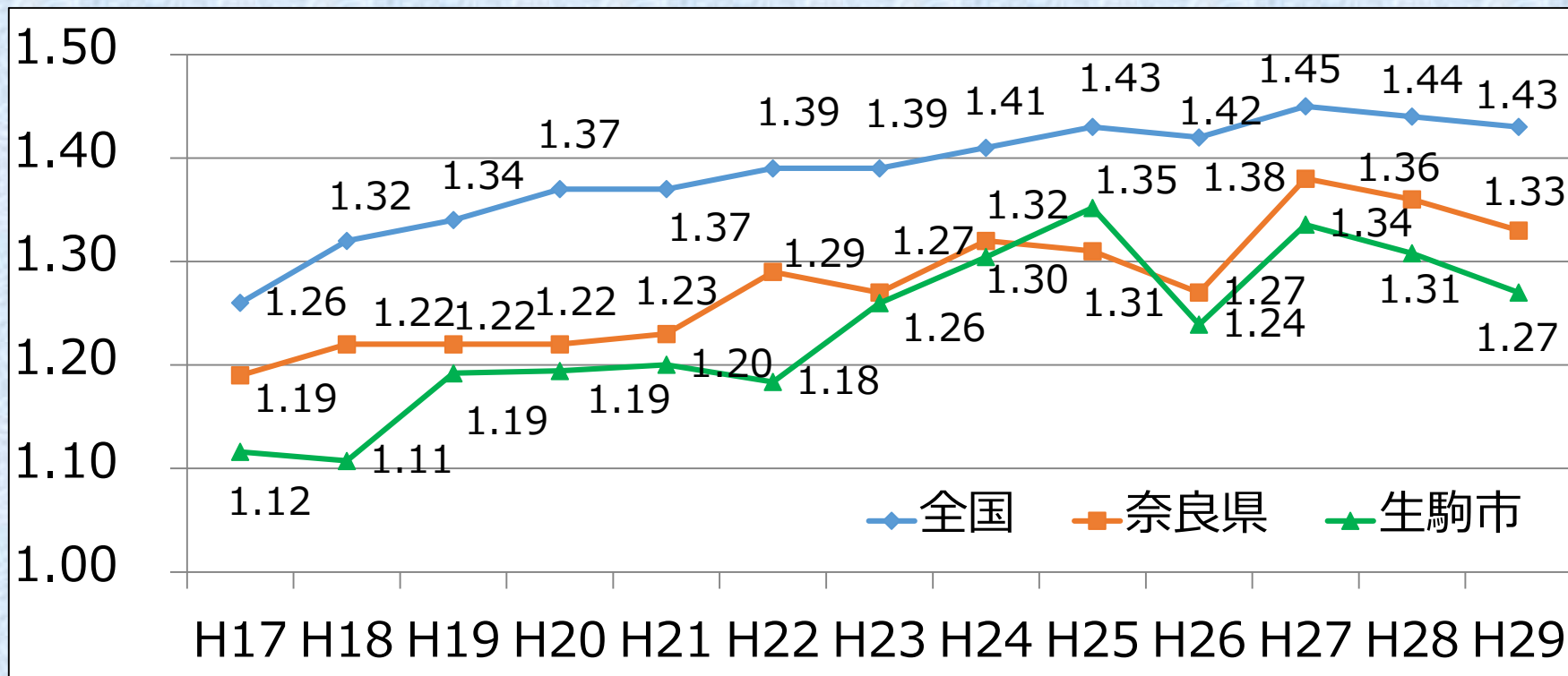


# 4. 女性就業率の低さ



# 5. 出生率の低さ

理想の子どもの数 **2.32人**

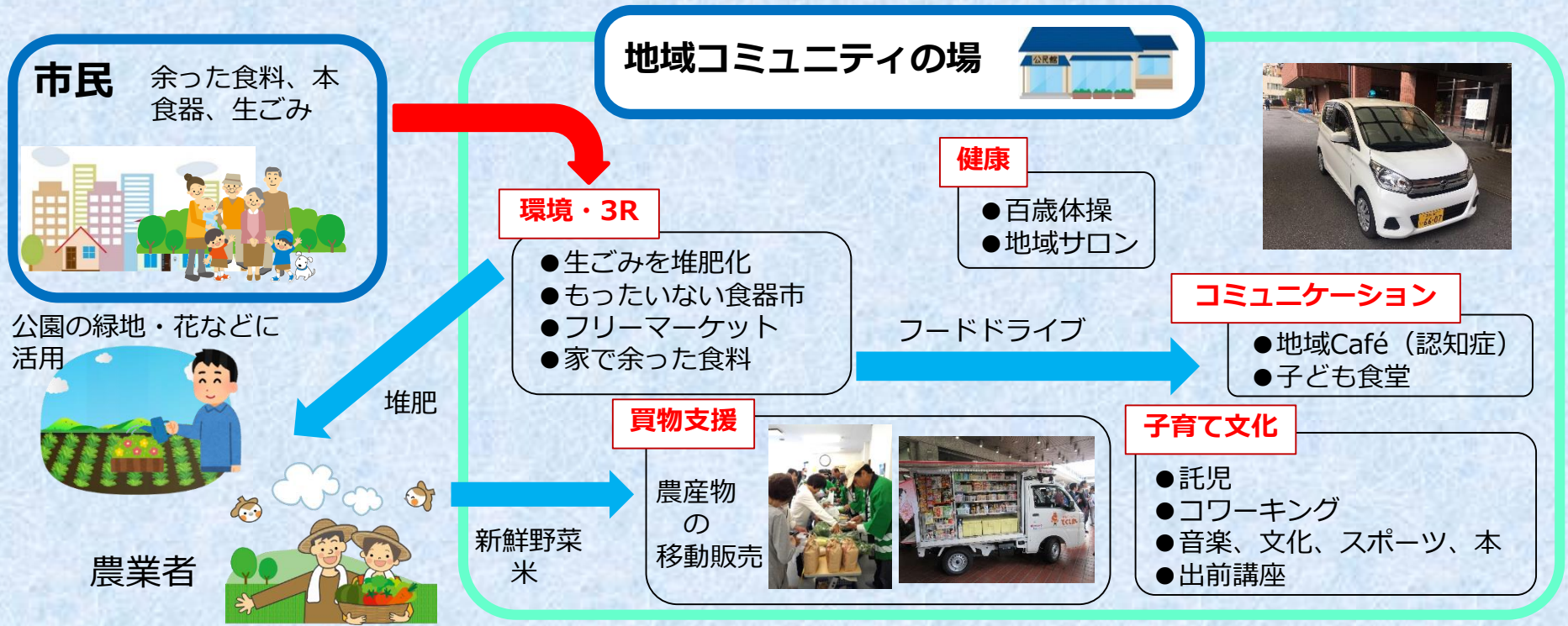


## Ⅱ 生駒市の公民連携事業





# 1. 100の複合型コミュニティづくり



**最大の移動・生活支援を市民・事業者による運営で実現！**



# 萩の台住宅地ステーション

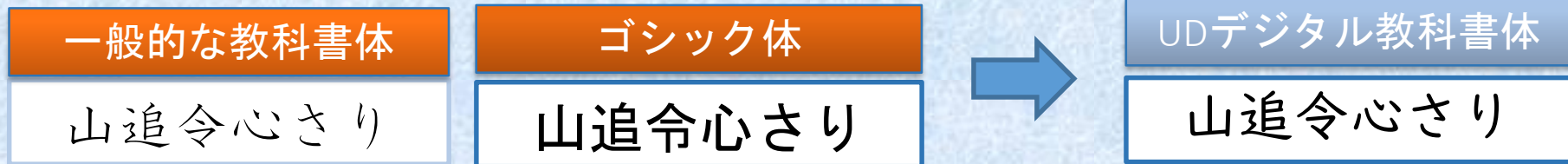
- ・ 住民自らが「差入れ」「手伝い」「改善案の提案」
- ・ 老若男女ごちゃまぜのコミュニティが形成
- ・ こどもシフト / ・ 面白い市民活動をほぼ全部集めてみた



- 時 期 : 令和元年12月20日～令和2年2月28日  
 事業者 : アミタ株式会社  
 きっかけ : S D G s 未来都市・環境省補助事業  
           → プロポーザル方式で決定  
 費 用 : 補助金で委託（次年度は未定）



## 2. UDフォント



	UDフォント	HG教科書体
平均回答数	<b>29.5問</b>	24.0問
全問到達者	<b>30名</b>	4名
正答率	<b>81%</b>	66%

➡ UDフォントの方が正答率アップ（健常者も）



時 期 : 平成31年4月～  
事業者 : 株式会社モリサワ  
きっかけ : 第1回シティプロモーション研究会  
費 用 : 初年度無料、次年度50万円/年

## <第1回シティプロモーション研究会>

(平成30年5月15日 主催：事業構想大学院大学)

参加自治体：生駒市、青森県むつ市、長崎県大村市

参加企業：**(株)モリサワ**

(株)NTTドコモ⇒環境モデル都市推進に関する連携協定を締結

花王(株)⇒スタイリングウィークの開催



# すぐ連携内容が決まったわけではない！

お出会いしてから約半年・・・

生駒市 「生駒市は教育熱心な街なんですよね」

モリサワ 「それならUDフォントというのがありまして…」



**お互いを知り、信頼関係構築する中で具体化**

→ 市の情報・コミュニケーション条例へと発展  
(問い合わせが多分2割程度減るはず)



## 3. 「プロ人材」の採用

生駒市×エン・ジャパン

生駒市を変える「プロ人材」を、

副業&テレワークOKで7職種公募

収益確保、首都圏PR、観光企画、ICT推進、  
人事改革、教育改革、地域活力

市長

### 試験結果

応募者1,025名

合格者12名

常勤4名

非常勤8名

(本業1名・副業7名)

テレワーク希望6名



- 時 期 : 令和元年10月～  
事業者 : エン・ジャパン株式会社  
きっかけ : 四條畷市から紹介 → 連携協定締結  
費 用 : 無料 ⇔ ENJAPANへの登録を義務付け  
協力内容 : 本社での記者会見・説明会、特設HPの開設  
適正検査の実施、内外職員の融和支援





# Ⅲ 公民連携事業を生み出す！



# 1. 先進事例の研究

- D-File、HOLG、月刊事業構想 など  
→ TTP + アルファ
- 各分野で先進都市を知り、情報をフォロー  
→ 視察 → 事業者の紹介（鎌倉市、四條畷市）



## 2. 現場からニーズを集める

- 書類を捨てて街に出よう  
(公民連携なら、商店街、事業者、ランチ会)
- 提案が自然と集まるブランドを創る
  - 「生駒市はどんな提案も確実に聞いてくれる」
  - 2割は実現を



### 3. つないでくれる人とつながる

- 地方創生アドバイザー（ピンからキリまで）  
ベンチャー、事業者とその強みを知る  
自治体を知り、その課題を理解  
→ 両者のつなぎやニーズとスキルの翻訳
- 事業構想プロジェクトなどマッチングの場への参加



## 4. 公民連携ワークショップ

- 相互が地域特有の課題を整理
- 解決のために使える技術やサービスを整理
- 行政でやるべきこと、事業者の力を借りること
- 市民もワークに入れる、市民パワーを活かす  
(公民連携は、自治体と事業者だけではない！)



## 5. シェアエコの活用

- ICTにより、CtoCの需要供給マッチングが飛躍的に向上
- シェアエコ企業が増加、有益なサービス多いが、課題は認知度と信用
- サービス内容について、自治体が市民に広く周知し、会社やサービスに対する信用付与も。



- 株式会社 A s M a m a の子育てシェア
- 株式会社タスカジの家事支援サービス
- A k i p p a 株式会社の駐車場シェア



# IV 公民連携実現の障害と 乗り越える手段



## 障害① やる気のない自治体

「前例がない」「仕事が増える」

→ 生み出す意識、行動、訓練が極めて乏しい



- 事業者がやる気のある自治体を選ぶ（説得は無駄）
- 人事異動を待つ
- トップダウン、エース職員
- 他市の前例を作り、逆輸入





## 障害② 不幸なにらみ合い

自治体：「事業者には何かしてもらいたい」



「アイデアを出して」「活かせそうな技術ない？」

事業者：「自治体が何に困っているのかわからん？」

「特別なルールやしきたりがあるのでは？」

→ 「何かあったら連絡ください」

→ 何も起こらない



# 生駒市公民連携窓口の設置

- 地域課題の共有と対話による相互理解を進め、生駒市と民間事業者等がWIN-WINとなる関係づくりを重視 → 公民（+市民）WS
- いつでも提案ができるように常設の窓口を設置し、参入機会の公平性を確保
- フリーテーマと特定テーマを使い分け
- 物品購入や業務委託等の単なる発注者、受注者の関係ではなく、**市の財政面以外の強み（信頼性、地域ネットワーク）を活かす**



## 障害③ 公平性の罠

「どうしてその事業者なのか？」

「事業者の決定は入札が原則だろ！」

「高いんじゃないの？」

「事業者と癒着？」

→ 職員が公民連携に対して萎縮

**「歪んだ『公平性』が、公民連携を殺す」**



## ①無料で事業を実施してもらえるか？

- ・ 全国初、自治体のブランド力
  - ・ 事業者にとってPRになるか？
- 2年目以降は？（1年目の実績、説得力）

## ②公民連携窓口のWSに市民を入れる

- 市民が選んだ事業者（議会 ← 市民）

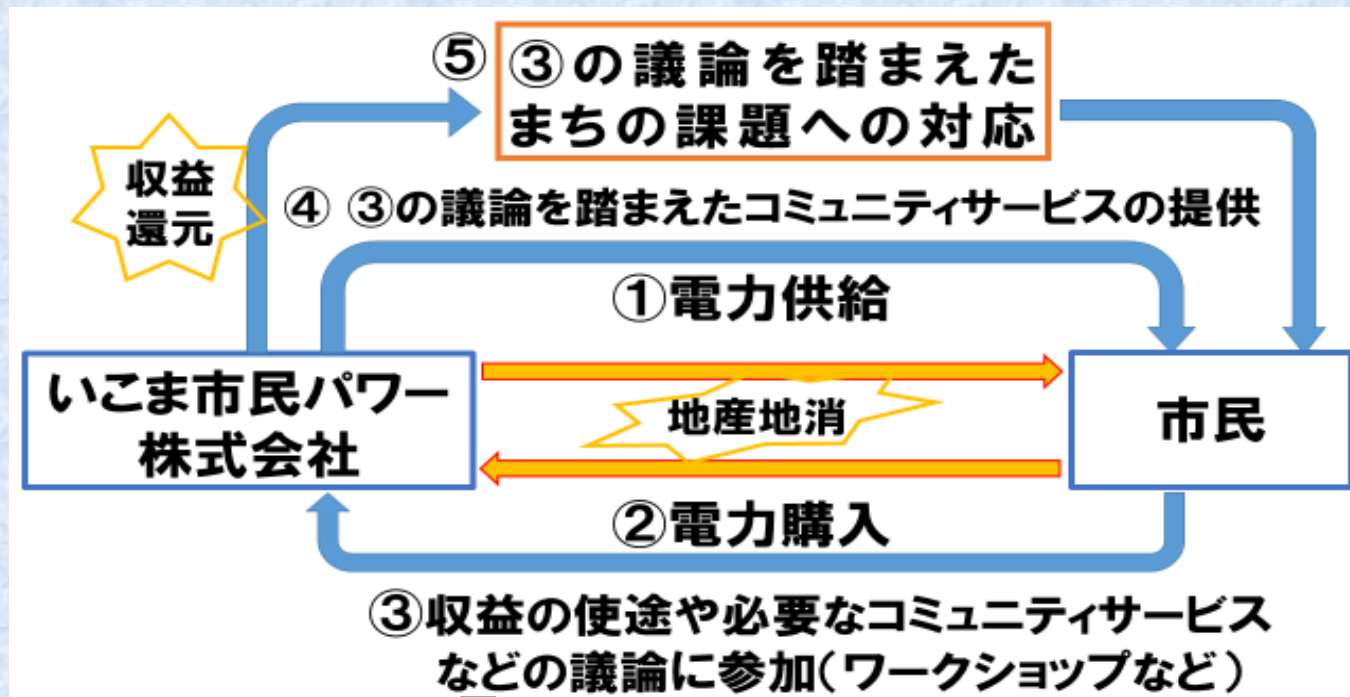


### ③まちづくり会社の活用

- 弾力的な財政支出
- 年度予算に縛られないスピード感
- 自治体電力会社の意味
- カマコンのような市民主導型まちづくり組織と連携



# <いこま市民パワー株式会社>



事業者との効果的連携に収益を活用可能



# <まちづくり会社（プラットフォーム型）>

定期的な  
ブレストの場

（誰でも参加可能）



アイデアを  
具体化

人 ・ お金  
（チーム化） （寄附）

このような活動を繰り返し、街を活性化し続ける  
**プラットフォーム**が不可欠



やりたい  
プロジェクト  
ごとに

人をグルーピング  
(チームづくり)

個人・会社・行政  
NPO・大学など

ボランティア・イベント

地域ビジネス

- ・観光
- ・農業
- ・空き家、民泊
- ・集まる場  
など





元市民や在住者からの

地域愛・誇り  
市民満足度↑

お金

- ・ 寄附（クラウドファンディング）
- ・ プロジェクトファイナンス  
（市内、県内、金融機関など）
- ・ 市民による市内事業者、まちづくり会社の  
株式保有
- ・ 地域通貨

まちづくりアイデアや  
その実施主体への支援



# おわりに



生駒市は、市民や事業者とともに汗をかいて、全国のモデルとなる**「令和時代の新しい住宅都市」**を具体化します！

## <PRポイント>

- ・人口12万人（日本全体の1／1,000）
- ・日本、世界の課題先進地（少子高齢化、人口減少など）
- ・利便性の良さ、市民力が高い
- ・災害に強く、副首都や本社のバックアップ機能として

